

根域制限栽培圃場の早期成園化実証 ② (抑草シートが早期成園化に及ぼす影響)

宇和島市吉田町の農家が、西日本豪雨災害の復興モデルとして、根域制限栽培に取り組んでいる。本調査では、抑草シートが早期成園化に及ぼす影響について調査検討した。

根域制限実証圃場の概要



南柑20号 (2020年3月定植、192本)
植栽間隔1.5m×1.5m、作業通路2m

抑草シートの効果確認調査



抑草シート処理区と無処理区を設置
左：抑草シート処理区、右：無処理区

表 抑草シートが早期成園化に及ぼす影響

処理区	成長率(%) ^{※1}	
	樹容積	主幹径
抑草シート	1092	162
無処理	740	145
有意性 ^{※2}	*	ns

※1 ((10月15日の値)/(4月30日の値))×100

※2 t検定(5%水準) 異符号間において有意差あり



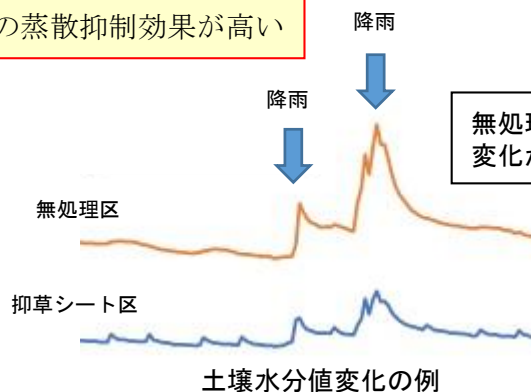
樹容積の拡大率は、抑草シート区で有意に高かった

抑草効果が高い



抑草シート無処理区では雑草が繁茂

土壌水分の蒸散抑制効果が高い



無処理区は、降雨による土壌水分の変化が大きい

抑草シート区は、降雨による土壌水分の変化が小さい(蒸散抑制)